

## 管内信用金庫の平成 26 年 3 月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- コア業務純益は、資金利益の減益等により、前期に比べ 3.4%の減益。
- 当期純利益は、コア業務純益が減益となったものの、与信関係費用の減少や株式等関係損益の改善等により、前期に比べ 23.6%の増益。
- 2 期連続で管内全信用金庫が黒字確保。

(単位：億円)

	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期	前期比	増減率
業務粗利益	3,796	3,737	3,616	▲121	▲3.2%
資金利益	3,351	3,259	3,232	▲27	▲0.8%
役務取引等利益	168	160	155	▲4	▲2.6%
債券等関係損益	249	281	186	▲95	▲33.7%
うち 債券等償却 (▲)	▲37	▲1	—	1	—
経費 (▲)	▲2,783	▲2,702	▲2,702	0	0.0%
コア業務純益	763	752	727	▲25	▲3.4%
与信関係費用 (▲)	▲387	▲293	▲177	116	39.7%
株式等関係損益	▲87	▲32	113	145	黒字化
うち 株式等償却 (▲)	▲27	▲8	▲2	6	75.9%
当期純利益	243	489	605	115	23.6%

(参考)

	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期
預金等 (平残)	24.4 兆円	25.0 兆円	25.8 兆円
貸出金 (平残)	12.7 兆円	12.9 兆円	13.0 兆円

預金等：預金＋譲渡性預金

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ減少。不良債権比率も低下。

	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期
不良債権額	8,824 億円	9,029 億円	8,683 億円
不良債権比率	6.66%	6.76%	6.41%

### 3. 自己資本比率の状況

- 26 年 3 月期よりバーゼル 3 の適用を開始。

	26 年 3 月期
自己資本比率	15.19%

(注 1) 集計対象は管内 39 信用金庫。(計数は単体ベース。)

(注 2) 経費、与信関係費用、債券等償却及び株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。

(注 3) 増減欄は、正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

(注 4) 計数は単位未満を切り捨てて表示しているため、増減欄の計数が計算と一致していない場合がある。



【お問合せ先】

財務省 東海財務局 金融監督第二課

TEL : (052) 951-1774

## 管内信用組合の平成 26 年 3 月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- コア業務純益は、経費が増加したものの、資金利益の増益等により、前期に比べ+0.1%と横這い。
- 当期純利益は、与信関係費用の減少等により、前期に比べ 51.9%の増益。
- 3 期ぶりに管内全信用組合が黒字を確保。

(単位：億円)

	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期	前期比	増減率
業務粗利益	200	209	214	5	2.6%
資金利益	196	197	203	6	3.1%
役務取引等利益	▲2	▲3	▲5	▲1	▲55.1%
債券等関係損益	5	13	14	1	7.4%
うち 債券等償却 (▲)	▲7	▲4	—	4	—
経費 (▲)	▲149	▲148	▲153	▲4	▲2.9%
コア業務純益	45	47	47	0	0.1%
与信関係費用 (▲)	▲28	▲22	▲14	8	36.5%
株式等関係損益	▲0	1	2	1	125.4%
うち 株式等償却 (▲)	▲1	▲0	▲0	0	87.3%
当期純利益	14	23	35	12	51.9%

(参考)

	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期
預金等 (平残)	1 兆 2,308 億円	1 兆 2,604 億円	1 兆 2,909 億円
貸出金 (平残)	6,270 億円	6,359 億円	6,415 億円

預金等：預金＋譲渡性預金

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ減少。不良債権比率も低下。

	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期
不良債権額	740 億円	750 億円	702 億円
不良債権比率	11.56%	11.63%	10.65%

### 3. 自己資本比率の状況

- 26 年 3 月期よりバーゼル 3 の適用を開始。

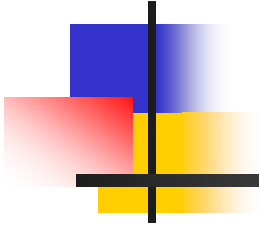
	26 年 3 月期
自己資本比率	12.39%

- (注 1) 集計対象は管内 16 信用組合。(計数は単体ベース。)
- (注 2) 経費、与信関係費用、債券等償却及び株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。
- (注 3) 増減欄は、正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。
- (注 4) 計数は単位未満を切り捨てて表示しているため、増減欄の計数が計算と一致していない場合がある。



【お問合せ先】  
財務省 東海財務局 金融監督第二課 信用組合監督室  
TEL：(052) 951-1775

# 管内信用金庫・信用組合の 平成26年3月期決算の概要



平成26年6月30日

東 海 財 務 局



# はじめに

東海財務局管内に本店を置く信用金庫(以下の39金庫)及び信用組合(以下の16組合)の平成26年3月期決算について、取りまとめを行ったのでこれを公表する。

○信用金庫(金融機関コード順)

【静岡県内(12)】

しずおか、静清、浜松、沼津、三島、富士宮、島田、磐田、焼津、掛川、富士、遠州

【岐阜県内(7)】

岐阜、大垣、高山、東濃、関、八幡、西濃

【愛知県内(15)】

愛知、豊橋、岡崎、いちい、瀬戸、半田、知多、豊川、豊田、碧海、西尾、蒲郡、尾西、中日、東春

【三重県内(5)】

津、北伊勢上野、三重、桑名、紀北

○信用組合(金融機関コード順)

【静岡県内(1)】

静岡県医師

【岐阜県内(5)】

岐阜商工、イオ、岐阜県医師、飛騨、益田

【愛知県内(9)】

丸八、愛知商銀、愛知県警察、名古屋青果物、愛知県医療、愛知県医師、豊橋商工、愛知県中央、三河

【三重県内(1)】

三重県職員

※ 各計数は、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。

※ 各計数は、各金融機関からの報告計数(単体ベース)を集計したものである。

(定義) ・比率は加重平均。

・端数整理: 東海管内の計数集計においては、単位未満切捨てで処理。

・端数整理後の計数により計算している項目もある。



# (参考) 収益指標

---

- 業務粗利益

業務粗利益 = 「資金利益」+「役務取引等利益」+「その他業務利益」

- コア業務純益

コア業務純益 = 「業務粗利益」-「経費」-「債券等関係損益」

○債券等関係損益 = 債券等関係収益(売却益+償還益) - 債券等関係損失(売却損+償還損+償却)

- 業務純益

業務純益 = 「業務収益」-「業務費用」  
= 「業務粗利益」-「経費」-「一般貸倒引当金繰入額」

○業務収益 = 「資金運用収益」+「役務取引等収益」+「その他業務収益」

○業務費用 = 「資金調達費用(金銭の信託運用見合費用控除後)」+「役務取引等費用」  
+「その他業務費用」+「一般貸倒引当金繰入額」+「経費」

# 損益の状況(信用金庫)

(単位:億円)

		24年3月期	25年3月期	26年3月期	前期比(注)
業務粗利益		3,796	3,737	3,616	▲ 121
	資金利益	3,351	3,259	3,232	▲ 27
	役務取引等利益	168	160	155	▲ 4
	債券等関係損益	249	281	186	▲ 95
	うち債券等償却(▲)	▲ 37	▲ 1	—	1
経費(▲)		▲ 2,783	▲ 2,702	▲ 2,702	0
コア業務純益		763	752	727	▲ 25
与信関係費用(▲)		▲ 387	▲ 293	▲ 177	116
株式等関係損益		▲ 87	▲ 32	113	145
	うち株式等償却(▲)	▲ 27	▲ 8	▲ 2	6
当期純利益		243	489	605	115

(注) 正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

# 損益の状況(信用組合)

(単位:億円)

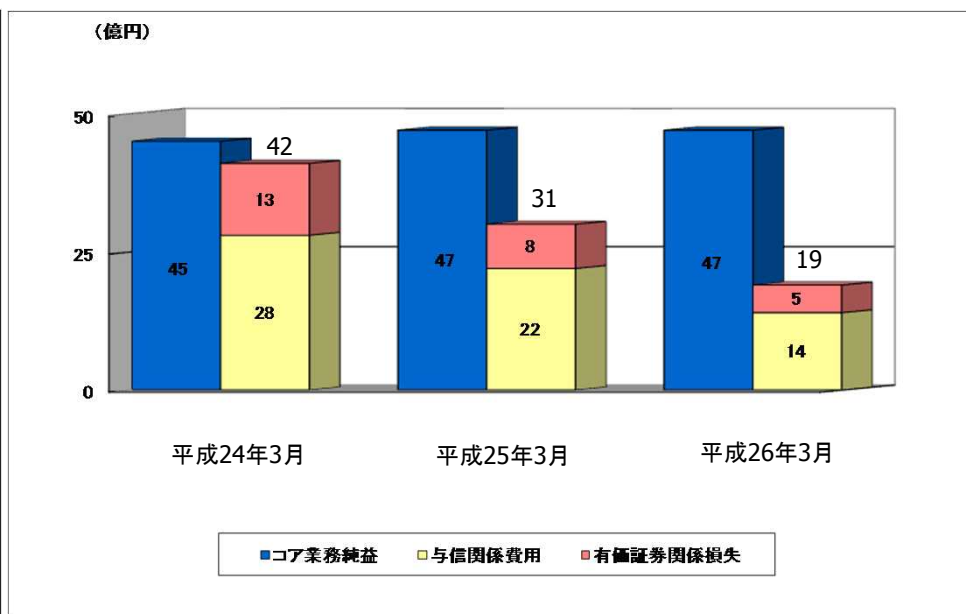
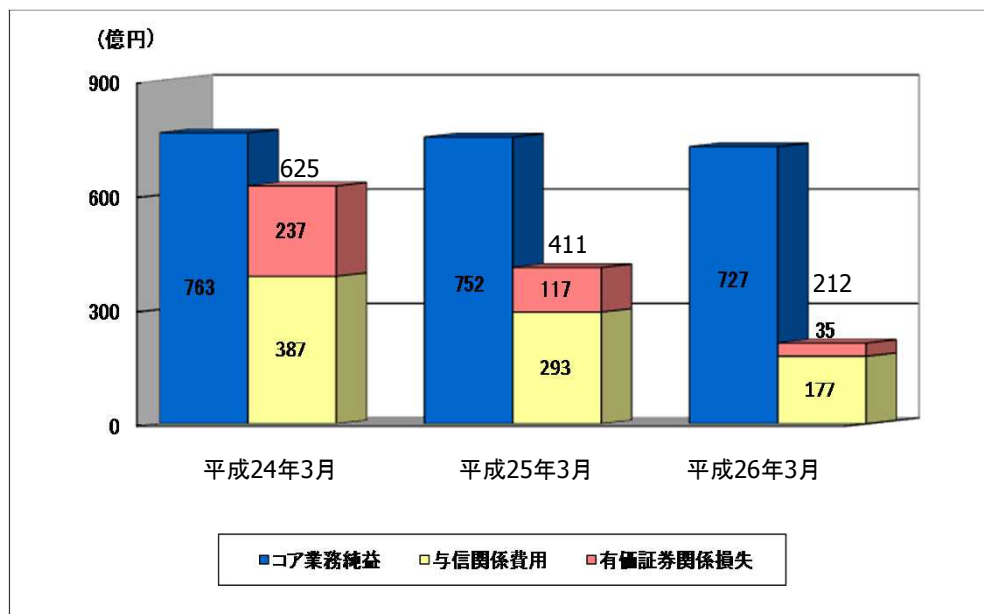
		24年3月期	25年3月期	26年3月期	前期比(注)
業務粗利益		200	209	214	5
	資金利益	196	197	203	6
	役務取引等利益	▲ 2	▲ 3	▲ 5	▲ 1
	債券等関係損益	5	13	14	1
	うち債券等償却(▲)	▲ 7	▲ 4	—	4
経費(▲)		▲ 149	▲ 148	▲ 153	▲ 4
コア業務純益		45	47	47	0
与信関係費用(▲)		▲ 28	▲ 22	▲ 14	8
株式等関係損益		▲ 0	1	2	1
	うち株式等償却(▲)	▲ 1	▲ 0	▲ 0	0
当期純利益		14	23	35	12

(注) 正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

# コア業務純益に対する 与信関係費用と有価証券関係損失の状況

(信用金庫)

(信用組合)



(日経平均株価:期末)

期	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月
日経平均株価	(10,083円)	(12,397円)	(14,827円)

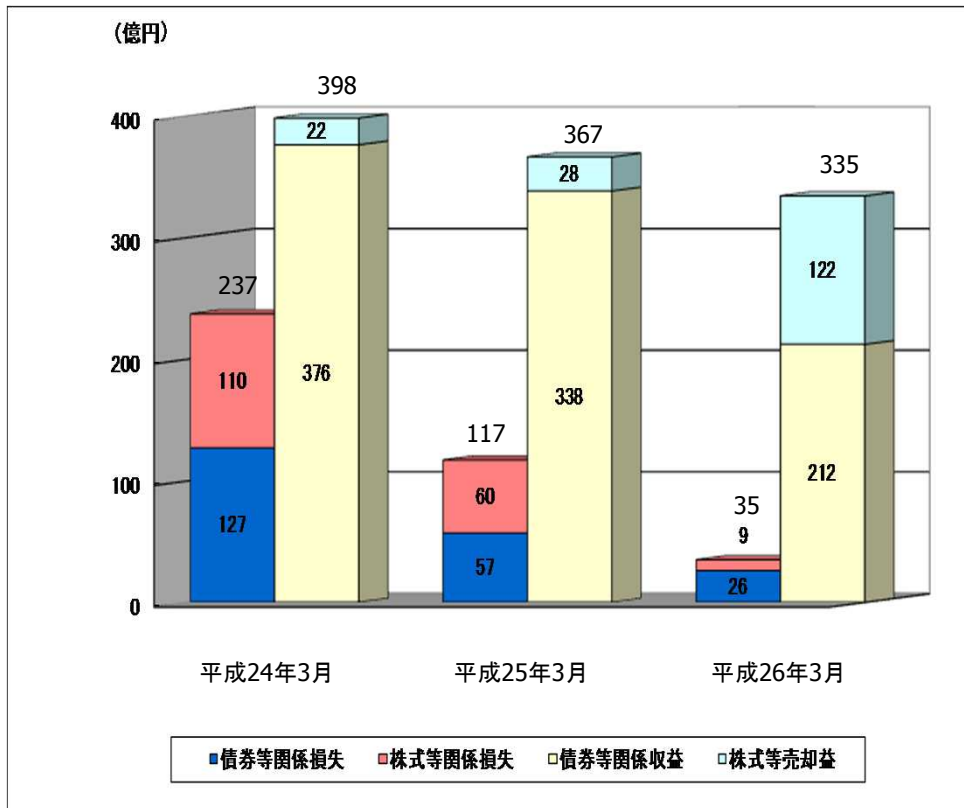
(注) ○与信関係費用＝一般貸倒引当金純繰入額＋個別貸倒引当金純繰入額＋貸出金償却＋債権売却損

○有価証券関係損失＝債券等関係損失(売却損＋償還損＋償却)＋株式等関係損失(売却損＋償却)

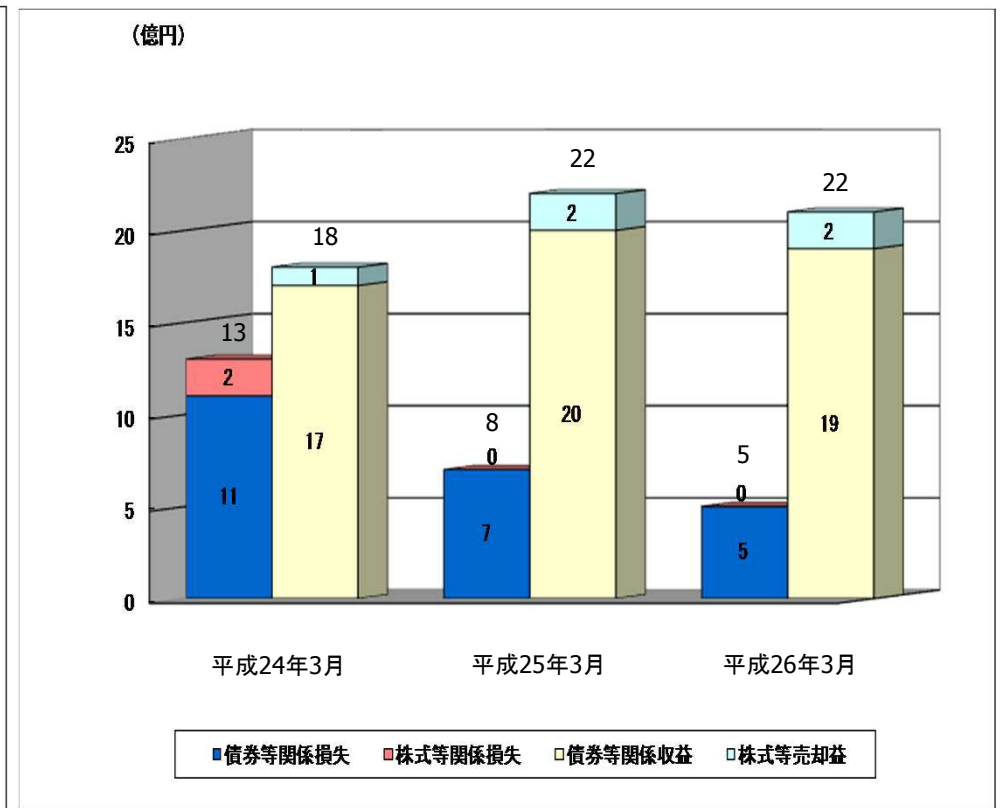


# 有価証券関係損益の状況

(信用金庫)

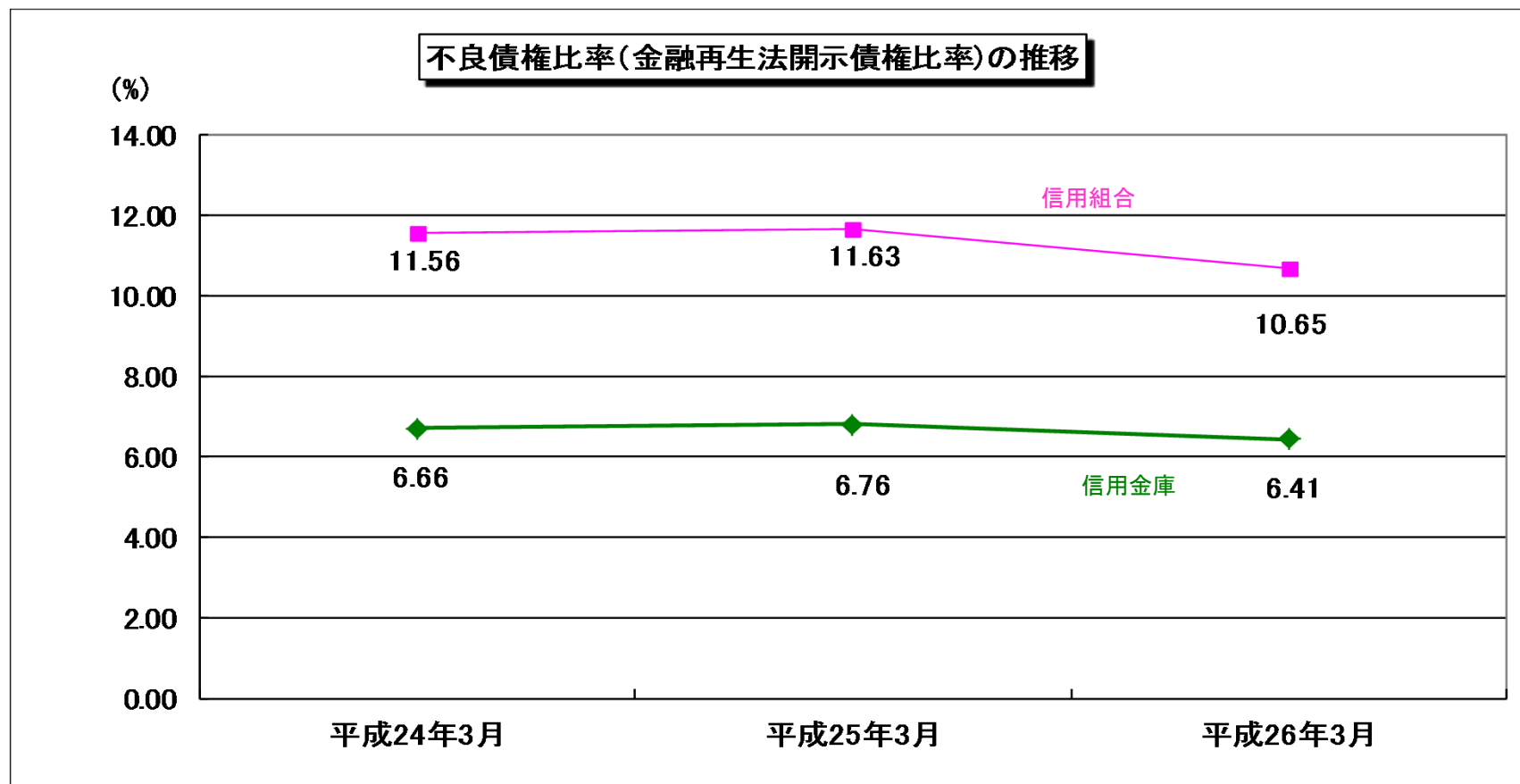


(信用組合)



(注)債券等関係損失=売却損+償還損+償却  
 債券等関係収益=売却益+償還益  
 株式等関係損失=売却損+償却  
 株式等売却益=売却益

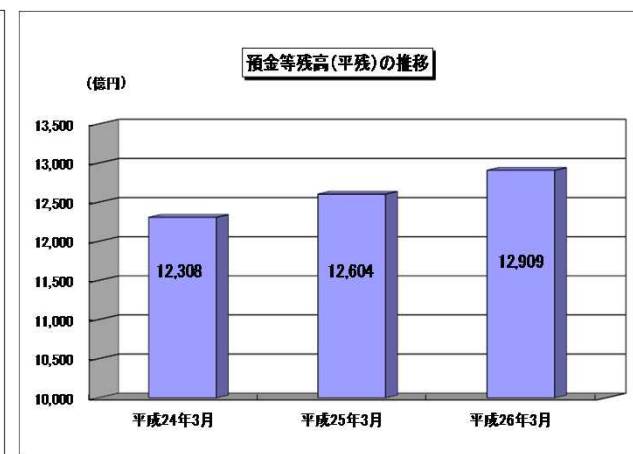
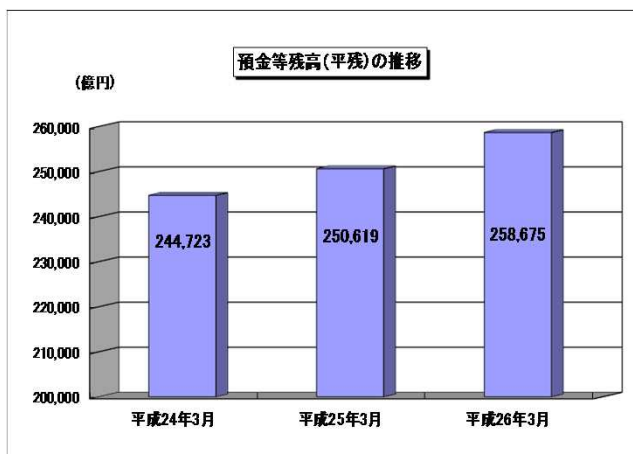
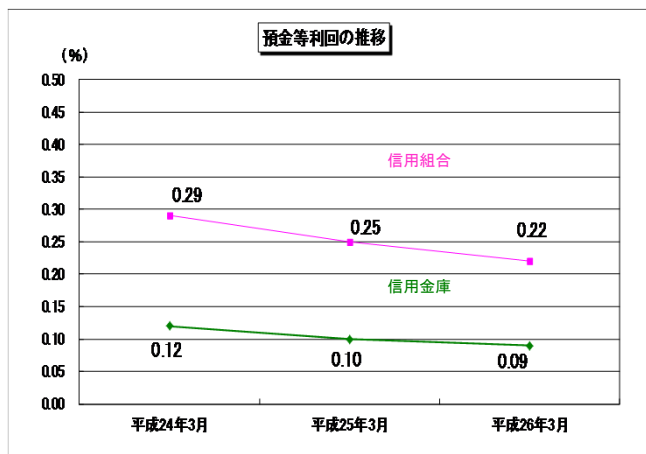
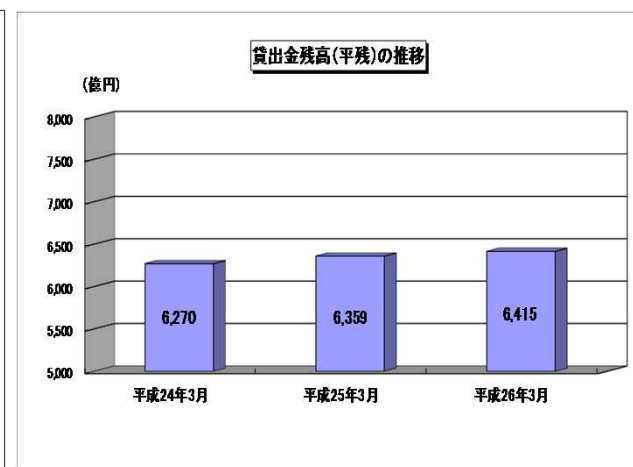
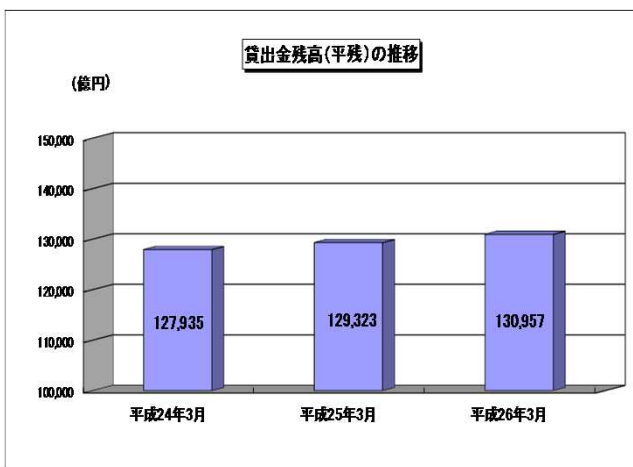
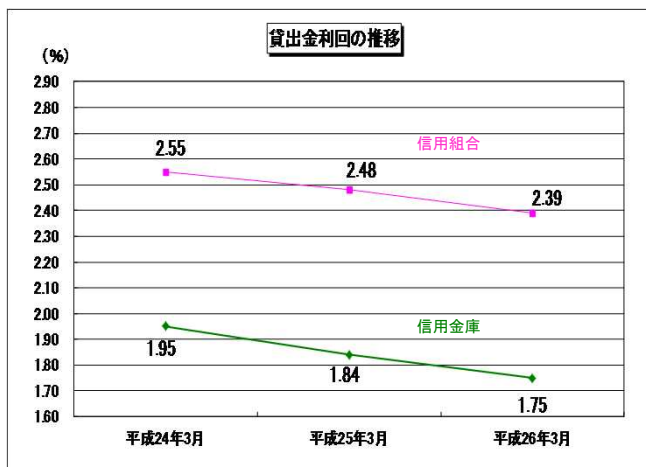
# 不良債権比率



# 預貸金利回の状況

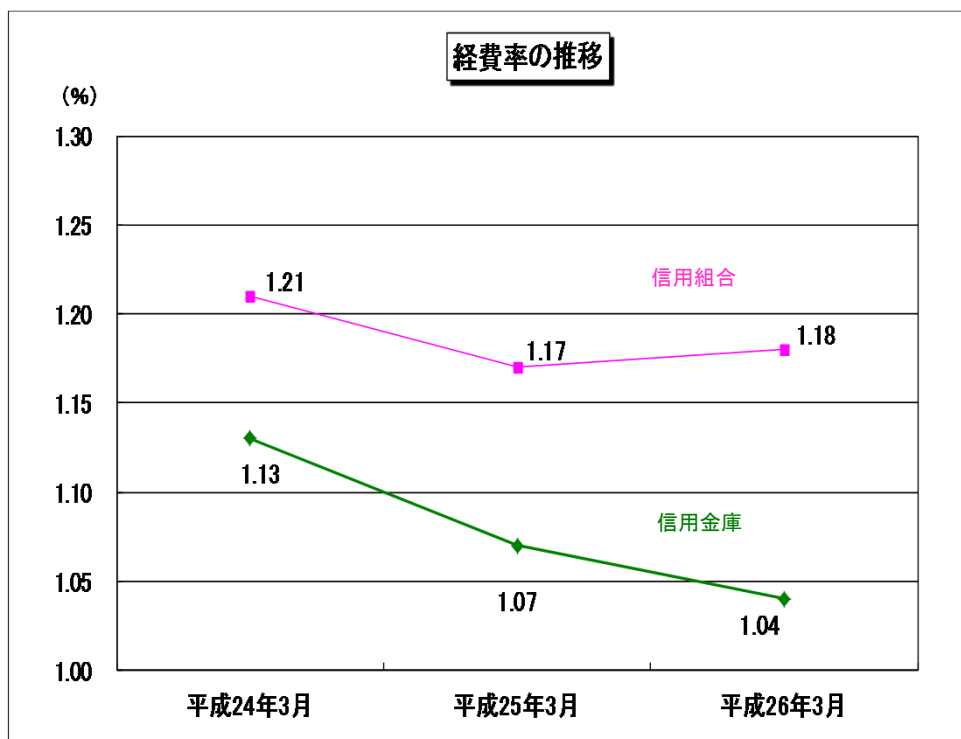
(信用金庫)

(信用組合)

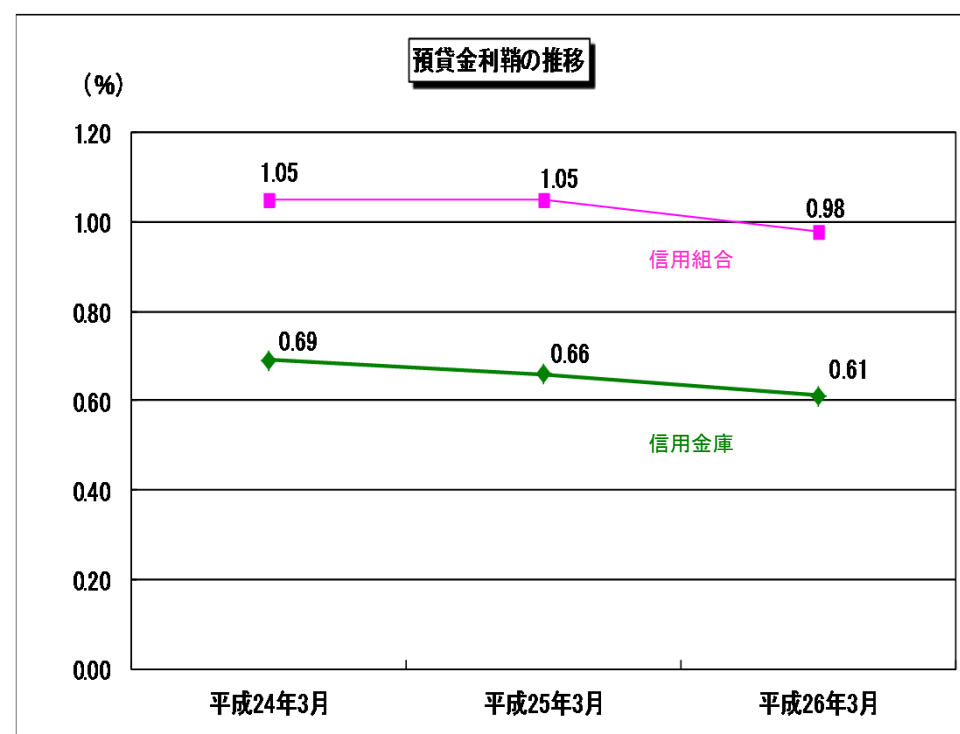


(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

# 経費率及び預貸金利鞘の状況

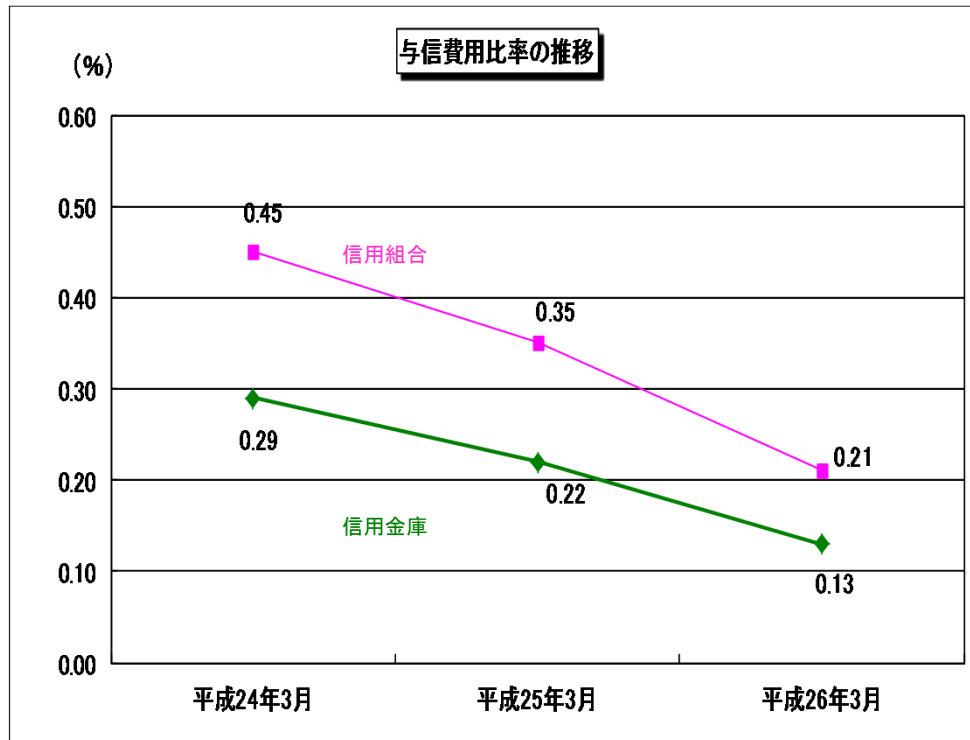


(注) 経費率(%) = 経費 ÷ 預金等(平残) × 100

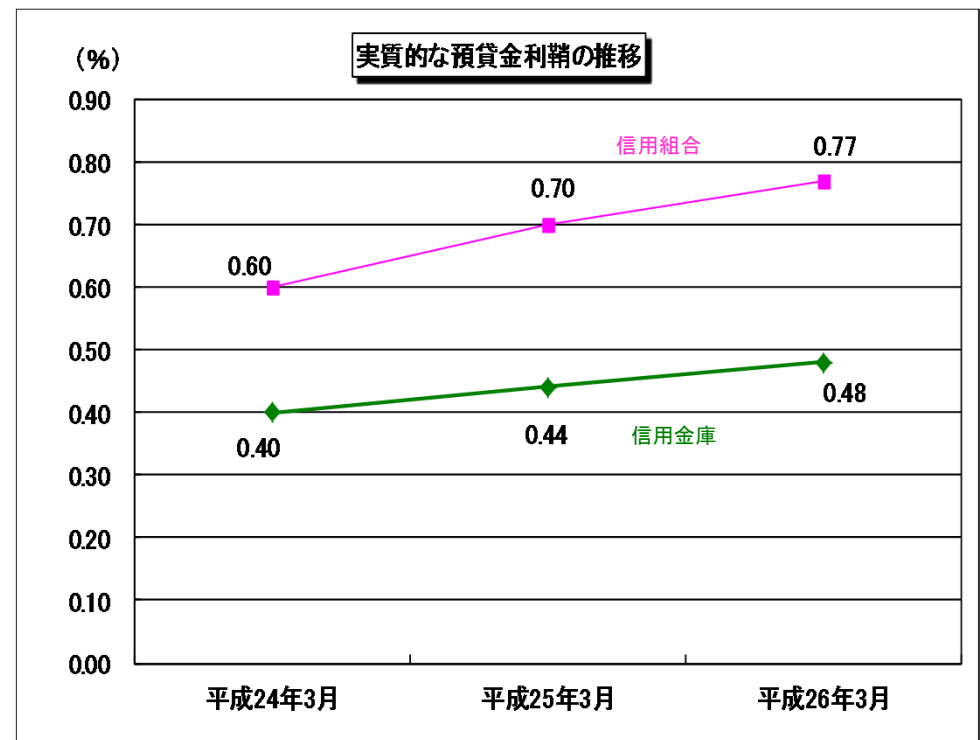


(注) 預貸金利鞘(%) = 貸出金利回(%) - 預金債券等原価(%)  
 預金債券等原価(%) = (預金等利息 + 経費) ÷ 預金等(平残) × 100

# (参考)実質的な預貸金利鞘の状況



(注)与信費用比率(%) = 与信関係費用 ÷ 総与信 × 100



(注)実質的な預貸金利鞘(%) = 預貸金利鞘(%) - 与信費用比率(%)